

看護倫理

[講義] 第3学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 塚本容子(デ) yokot88@hoku-iryu-u.ac.jp 福井純子 内ヶ島伸也 三津橋梨絵 中安隆志 山田拓

【概要】

変化し続ける社会環境の中で看護師の倫理的役割をディスカッションし、看護における倫理的課題と専門職としての個人の責務を理解できることを目的としている。

【学修目標】

看護倫理とは何かを理解し、倫理的意思決定のプロセスに沿って事例を検討することができる。また、実際に臨床で起きている倫理的問題に関して造詣を深めることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オーバービュー	本講義の目的・目標、課題に関して確認 看護倫理とは	塚本 福井
2	看護倫理概論 1)	司法と倫理 ・看護倫理を学修するために、なぜ法律を知る必要性があるのか理解する。 ・法律と倫理の違いについて知る。 ・看護師の業務を規定する法律について知る。	塚本
3	看護倫理概論 2)	倫理原則について ・看護の場面で用いられている倫理原則とその意味について理解する。 ・倫理的ジレンマ、倫理原則間の対立について、具体的事例から考察する。	福井
4	看護倫理概論 3)	患者権利の擁護：インフォームド・コンセントについて ・インフォームド・コンセントの概念を理解する。 ・インフォームド・コンセントにおける看護師の役割について考察する。	福井
5	看護倫理概論 4)	倫理的意思決定について ・倫理的意思決定のプロセスについて理解する。 ・実際の事例を倫理的意思決定プロセスで検討する。	塚本
6	看護倫理概論 5)	倫理綱領について/看護管理の側面からの看護倫理 ・看護者の倫理綱領の内容を理解する。 ・なぜ看護師に倫理綱領が必要か理解する。 ・看護倫理における管理的側面について理解する。 ・専門職である看護師の責任と倫理の関連について考察する。	福井
7	臨床における倫理的ジレンマ 1)	慢性疾患と倫理的問題 ・慢性疾患を持つ患者を取り巻く状況にどのような倫理的ジレンマがあるのか、具体的事例から考察する。 ・慢性疾患を持つ患者を取り巻く状況における倫理的課題について理解する。	樋口秋緒(特別講師) 福井
8	臨床における倫理的ジレンマ 2)	老年看護における倫理的ジレンマと課題 ・老年看護における倫理的課題について理解する。 ・老年看護における倫理的ジレンマについて、具体的事例から考察する。	内ヶ島
9	臨床における倫理的ジレンマ 3)	精神看護における倫理的ジレンマと課題 ・精神疾患を持つ患者を取り巻く状況における倫理的課題について理解する。 ・精神疾患を持つ患者を取り巻く状況にどのような倫理的ジレンマがあるのか、具体的事例から考察する。	中安
10	臨床における倫理的ジレンマ 4)	母性看護における倫理的ジレンマと課題 ・母性看護における倫理的課題について理解する。	石田桐代(特別講師) 福井

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・母性看護における倫理的ジレンマについて、具体的事例から考察する。	
11	臨床における倫理的ジレンマ 5)	移植を取り巻く倫理的問題 ・移植を受ける患者を取り巻く状況における倫理的課題について理解する。 ・移植を受ける患者を取り巻く状況にどのような倫理的ジレンマがあるのか、具体的事例から考察する。	山崎奈美恵（特別講師） 福井
12	臨床における倫理的ジレンマ 6)	終末期における倫理的ジレンマと課題 ・終末期における倫理的課題について理解する。 ・終末期における倫理的ジレンマについて、具体的事例から考察する。	三津橋
13	臨床における倫理的ジレンマ 7)	感染看護における倫理的ジレンマと課題 ・感染症を有する患者の倫理的課題について理解する。 文化と倫理観 ・文化の違いがどのように倫理観に影響を及ぼすのか、医療に関する事例から考察する。	山田 塚本 福井
14	グループ演習	事例ディスカッション（グループ） ・今まで学修したことを統合するために、医療ドラマを視聴する。 ・上記の内容について、倫理的課題について考察する。	塚本
15	グループ演習・まとめ	事例ディスカッション（グループ及び個人ワーク） ・視聴した医療ドラマの倫理的課題についてグループで、ディスカッションする。 ・グループでのディスカッションを受けて、個人で倫理的課題解決のための考察を行う。 本授業のまとめ ・これまでの授業で学習したことを振り返り、知識を統合する。	福井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業の参加度（グループディスカッションを含む） 30%

レポート 30% 定期試験（筆記試験） 40%

【教科書】

小西恵美子編（2021）．看護倫理 改訂第3版．南江堂．

手島恵．看護者の基本的責務 定義・概念/基本法/倫理．日本看護協会出版会．（1年次に使用した教科書を使いますので購入不要です）

【参考書】

石井トク・野口恭子編著（2007）．看護の倫理資料集 第2版．丸善株式会社．

【学修の準備】

予習：初回授業でレポート課題を提示するので、倫理的な課題に関心を寄せ新聞記事を読んでおくこと。（1時間）

予習：授業前に教科書の該当箇所を読み、倫理的な課題を意識して授業に臨むこと。（1時間）

復習：各授業の授業資料、教科書の該当箇所、授業コメント等を振り返りまとめをしておくこと。（2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【ICTの活用】

・Google Form を活用し、授業への参加度・授業内容の理解度を把握する

・ Google Classroom を活用してレポート課題の提示・提出、追加資料の配付等を行う

【実務経験】

塚本容子（看護師） 福井純子（看護師） 内ヶ島伸也（看護師） 三津橋梨絵（看護師） 中安隆志（看護師） 山田拓（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、臨床現場で起こった倫理的課題を有する事例を用いながら、看護師を果たす役割について学生に教授する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している